

5/16

「令和7年度 第1回留学生&メンター交流会」開催

HICEでは、令和5年度より浜松市委託事業として、留学生のための「メンターによる相談事業」を行っています。浜松市で働く先輩外国人がメンターとなり、留学生の就職や起業などの相談のっています。

その一環として、今年度も第1回目の「留学生&メンター交流会」を静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館で開催しました。バングラデシュ、インド、インドネシア出身のメンターと、昨年度を上回る9か国、35名の留学生が集まり、会場は熱気に包まれました。

留学生たちは「就活するにはどのような準備をしたらよいか」「社内でのコミュニケーションにどのくらいの日本語力が必要なのか」など、メンター達に熱心に質問していました。メンター達は質問に丁寧に答えながら、「ぜひ、母国と浜松をつなぐグローバル人材として活躍できるよう頑張ってください」とエールを送っていました。

留学生に行ったアンケートでは「メンターから日本の就職活動について色々教えてもらうことができた」「日本の仕事の文化を理解するのに役立つので、また参加したい」などの声が多く寄せられ、満足度が高い交流会となりました。

これまで2年間で、交流会には約200人が参加、100人以上の留学生から相談がありました。その中から20人以上の留学生が市内の企業から内定をもらうなど、嬉しいニュースが届いています。留学生の皆さんには、メンターとの交流や相談を通し、ぜひ納得のいくキャリアを選択するヒントをつかんでいただきたいと思います。

6/4

「外国人材の帯同家族向け 新生活オリエンテーション」を開催しました。

6月4日(水)、多文化共生センター事業の一環として「外国人材の帯同家族向け新生活オリエンテーション」を開催し、市内在住の帯同家族9名(インド5名・インドネシア3名・ベトナム1名)が参加しました。英語で行われた今回のオリエンテーションは、来日して間もない方々が浜松で安心して新生活を始められるよう、日本と海外の生活様式の違いについて理解を深めてもらうこと、また、帯同家族が孤立しないよう友達づくりの場を提供することを目的としました。

当日は、自治会やゴミの分別、保険証・マイナンバーカード、緊急時の対応など、日常生活に欠かせないテーマについて説明しました。また、職員や登壇者の異国での暮らしの経験を共有したことで、参加者にとって共感しやすく、日本での生活をよりリアルにイメージする助けとなりました。

後半のグループワークでは、初対面とは思えないほど和やかな雰囲気包まれ、参加者同士や日本人ボランティアとの間で自然と会話が弾んでいました。連絡先を交換する姿も見られ、「困った時はお互い様」という温かな繋がりの第一歩となったようです。

参加者からは「小学校のことが不安だったが、回答が得られてよかった」「小さなクリニックや総合病院の違いについての話は、目からウロコの情報だった」といった声が寄せられ、生活に対する不安が軽減された様子がうかがえました。

終了後は参加者同士でインド料理店にランチに行き、インドの家庭料理や文化について語り合う場面もあり、双方向の温かな異文化交流が生まれました。このつながりが続いていくよう、引き続きサポートをしていきたいと考えています。



2023年11月のジャカルタの様子。



インターカルチュラル・シティ： 地域で活躍する外国人市民インタビュー Vol.17

川越レニさん

東京は夢の国 興味を持ったきっかけは日本のドラマ「東京ラブストーリー」

インドネシアの東ジャカルタで両親と1つの妹、4つ下の弟と5人家族の中で育ったレニさん。緑豊かな土地で過ごし、妹、弟と登りをして遊んだり、ガールスカウトに入会し、地域のお祭りの企画や司会などを担当したり、子ども時代から行動派で率先して何でもやっていたそうです。地元は日系企業が多く進出している地区で、幼い頃から日本を感じられる空間で過ごしたレニさんはドラマ「東京ラブストーリー」に影響を受け、日本に興味を持つように。ダルマプルサダ短期大学(3年制)日本語学科に入学し、卒業するころには日常会話は完璧にマスターするレベルまで上達しました。大学卒業後は中国企業に入社し、その後、ヤマハインドネシア株式会社に転職。通訳として業務を行う中で、日本から出張に来ていたご主人に出会い、結婚を機に23歳で来日。現在はインドネシア語講師、通訳・翻訳、ビジネスホテル東横イン正社員と幅広く活躍しています。前半はインドネシアで過ごした日々の話を聞かせます。(聞き手:三井寿/写真提供:本人)

生まれ育った東ジャカルタについて聞かせてください

首都ジャカルタから車で約1時間の場所にある東ジャカルタで育ちました。首都圏、森林があり浜松の自然豊かな地域と雰囲気が似ていてとても素敵な場所です。インドネシアの人たちの国民性は基本的にはみんな優しいですが、ちょっとのんびり屋さん面もあります。知らない人同士が挨拶してもする打ち解ける感じがあるところが素敵だと思います。家の外に出るとたくさんのご近所さんがいてみんな優しく、地域で子どもを育てているような雰囲気がありました。

インドネシアの魅力について

インドネシアは亜熱帯地域で四季がなく一年中温暖な気候です。雨季と乾季の2つの季節があり、雨季は10月〜3月、乾季は4月〜9月です。乾季は湿度があり高くなくいい、観光にはベストシーズンです。食べ物もおいしくて、みなさんがよく耳にする「ナシゴレン」「サテ」「ナシチャンプル」などは有名です。「ナシごはん」「チャンプルめし」の意味があります。浜松にもインドネシア料理が食べられるレストランがありますから、店主に料理の意味を聞いてみるのも面白いかもしれません。インドネシアは石油をはじめ、天然ガス、石炭などのエネルギー資源や鉱物資源、天然ゴム、パーム油など、自然資源も豊富です。人口は世界第4位。若い年齢層が多く、これから発展し続けていく国です。

レニさんが日本に興味を持ったのはいつですか

子どもの頃からドラえもんやキャンディキャンディ、セーラームーンなど日本のアニメはよく見ていましたが高校3年生の頃に「東京ラブストーリー」というドラマを見て東京に憧れました。「いつか日本に行きたい!」という思いから日本語習得のために「ダルマプルサダ短期大学(3年制)日本語学科」に入学し本格的に日本語を勉強しました。当時の私からみると日本は「夢の国」でした。

大学3年生の時に日本に留学されたそうですね

日本語のために、テストと面接をクリアし念願の日本に行くことができました。東京は想像していた通り大都会で、テレビで見たような風景で感動しました。自動販売機や24時間営業のコンビニエンスストアを初めて体験したときはこんな便利なものがあるのかと驚きました。いつでも何でも買える環境は安全な日本だからできることだと理解しました。そして、留学中はデイズニランドにも足を運び、絶叫マシーンなど、初めて体験する乗り物にもチャレンジしました。留学中は金沢と新潟でホームステイさせてもらいましたが、田舎暮らしも貴重な体験で、留学期間中はたくさんの方々に日本文化に触れ日本への理解を深めました。

大学を卒業するころには日常会話をマスターするほど日本語が上達したレニさん。卒業後は中国企業に就職し、1年後に転職先として選んだのがヤマハインドネシア株式会社。運命の出会いが来日することになりました。インドネシアの暮らしから日本へ。日本では通訳・翻訳、インドネシア語講師として活動し、12年前からビジネスホテル東横インに勤務し、6年前から正社員としてホテルの客室担当のチーフとして多国籍のスタッフのまとめ役をしています。後半は社会人になってからのレニさんと来日後の生活について伺いました。

アズ留学センター 実績20年・1週間から長期まで世界16カ国400校以上ご紹介！

「浜松から世界へ」を、全力サポート。

語学[大学]小中高生短期・長期正規留学|シニア留学|ワーキングホリデー|ボランティア・インターン|親子留学など

学校・企業向け研修も手配実績多数

TEL:053-451-6188 無料相談受付 sodan@az-ryugaku.com

浜松市中央区板屋町(第一通り駅より徒歩1分) 運営：株式会社ワンプラネット・アプロード

通訳としてヤマハインドネシア株式会社に勤務 運命の出会いがあり、23年前に来日

短大卒業後は中国企業に半年勤務。その後、ヤマハインドネシア株式会社に転職したそうですね

「YAMAHA＝モーターサイクル」だと思い就職試験の申込をしました。が、実際は楽器メーカーのYAMAHAでした。楽器メーカーに入社して初めて見たのが「ピアノ」。通訳として採用されたので、細かい部品の専門用語を覚えるのが大変でしたが、毎日新鮮でした。入社して間もない頃に、日本から出張に来ていた主人に出会いました。交際4か月でプロポーズされ、結婚を機に日本に行くことになりました。ヤマハインドネシア株式会社に1年間しか勤務できませんでしたが、自分の運命を変える出会いがあり感謝しています。



ご主人と一緒にヤマハインドネシア訪問。真ん中の方は上司で仲人役をしてください。

浜松の印象について教えてください

インドネシアは人々が多岐にわたっている感じがしましたが、浜松で居住している地区はほとんど静かで落ち着いて過ごせる場所です。インドネシアに里帰りして日本に戻ると浜松市は安全な地区であるということを実感します。浜松市は海も川も山も湖もあり、お金をかけなくても遊べる所がたくさんあり、食事もおいしくて素敵な地域だと思います。日本全体で言うと日本は四季があり、同じ場所でも季節によって違う風景が見られるのが素晴らしいです。四季の移り変わりを感ぜながら過ごせる日本のことが大好きです。

子育てしている中で印象に残っていることはありますか

外国人だからと言って頭ごなしに「外国人のあなたにはこれではいけないでしょ」などと言われることなく、みんな日本人の保護者と同じように接してくれたことが本当にうれしかったです。娘たちが通っていた学校の先生たちをはじめ保護者の皆さんの理解があり確かな思いをすることなく過ごせたことは幸せでした。学校の授業が始まる前に子どもたちに本を読んで聞かせる時間がありますが、8年間欠かすずに本読みボランティアを続けたことが思い出に残っています。英語も話せるため、クリスマスシーズンは英語の本を読み聞かせました。本を通して子どもたちの交流ができたことと、8年間つづけた環境に感謝しています。

来日後の仕事について教えてください

子育てが一段落した頃から官公庁の通訳や翻訳、インドネシア語の講師の仕事と並行して、12年前からビジネスホテル東横インの客室係で働いています。6年前に正社員となり、現在はチーフとして、スタッフをまとめる立場にあります。客室係のスタッフは多国籍で、インドネシアをはじめ、フィリピン、バングラデシュ、スリランカ、タイ、マレーシア、ペルー、韓国、中国と多いときは10カ国のスタッフが集まるといいます。文化も風習も違う国の人々をまとめるのは大変ですが、ビジネスホテル東横インのルールがあるため、言葉の意思疎通で行き違いないように、デモンストレーションを駆使して誰もが理解できる形で指導しています。チーフの立場は何でもできないといけないため、エアコン掃除や水道の部品交換など客室の備品に関する細かい修理などもできるように、スキルがあがっています。ホテルの支配人は理解があり働きやすい環境です。

インドネシア講座はいろいろなところで行っていますが、浜松国際交流協会(HICE)では毎週火曜日の夜に開講しています。言語と並行してインドネシアの文化も学べるように地元のお菓子を食べる体験など、文化的なこともレッスンで取り入れています。楽しみながらインドネシア語を学べる環境を整えています。

浜松市の外国人審議会インドネシア代表をされているそうですね

浜松市に在住しているインドネシア人の数は2024年11月現在1,830人。国籍・地域別の市民数は第5位と、多くのインドネシア人が住んでいます。外国籍の人は選挙権がないため、インドネシア人の要望をまとめる市との話し合いに参加していますが、浜松市をもっと住みやすい街にするために代表者として意見をしています。ゴミ捨てや回覧板など地域の決まり事などはしっかりと守り、日本の風習や文化を理解した上で外国人が住みやすくなるための提案などを行っています。



外国人審議会後の記念撮影。

今後について聞かせてください

現在3世代で暮らしています。義理の両親の介護をしていますが、介護の知識を深めるために勉強したいと思っています。趣味の家庭菜園では10種類以上野菜を育てていますが、うまく育つときと育たない時があります。家庭菜園も上手においしくできるように勉強できたらと思っています。



1978年、インドネシア生まれ。1999年、ダルマプルサダ短期大学(3年制)日本語学科卒業。2000年、中国企業に入社。2001年、ヤマハインドネシア株式会社に転職。通訳として働いていた時にご主人と出会う。2002年、結婚を機に23歳で来日。2児の母に、インドネシア語講師をはじめ官公庁の通訳翻訳なども担当。ビジネスホテル東横インの社員としてホテルの客室チーフの担当。職歴12年。

HAMAPOではハラル食料店・レストラン情報を掲載しています

浜松市のハラル食料店・レストラン

ここ数年、浜松市でもハラル食料店が増えました。ムスリムの方にとっても浜松市は住みやすい街に変わってきています。

お店の情報は令和6年の取材時のものです。変わっている可能性がありますので、行く前にお店に確認してみてください。

イベント スケジュール

7/12・8/23 プリッジビルダー育成講座 「外国ルーツの子・保護者との懸け橋になろう」

クリエート浜松 特別会議室 / 13:30-16:30

7/26 地域共生自治会会議

クリエート浜松 ホール / 15:00-17:00

7/31 セミナー「がんばらないムスリムフレンドリー」

クリエート浜松 ホール / 14:00-17:00

8/7・8/26 教職員のための多文化共生講座

8/7:外国人学習支援センター / 9:15-12:15
8/26:教育センター(中央区東三方可143-4) / 13:30-16:30

8/22 シンポジウム「民族を超えた共存をめざして ～バングラデシュ・インドの若きリーダーたちと語る平和と未来」

多文化共生センター / 17:00-20:30 ※共催:ジユマ・ネット

8/24 U-ToC 日本語教室 浜松版生活日本語コース もみじクラス プロジェクトワーク発表会

クリエート浜松 ホール / 16:00-17:30

8/30 ソーシャルワーク研修 ～法律相談の事例～

多文化共生センター / 14:00-16:00

9/2・11/28 帯同家族向け日本語教室

クリエート浜松 4-5階 / 10:00-11:40

9/7 国際理解教育ファシリテーター養成講座

多文化共生センター / 10:00-17:00

9/26 帯同家族の新生活オリエンテーション(第2回目)

クリエート浜松 特別会議室他 / 10:00-16:00

国際交流のための語学講座 ※8月15日(金)申込締切

9/11・11/27 ボルトガル語(入門)

オンライン(Zoom) / 毎週木曜日 / 19:00-20:30

9/11・11/27 インドネシア語(入門)

多文化共生センター / 毎週木曜日 / 19:00-20:30

日本語教室

7/5・10/4 週末ひらがなカタカナ漢字クラス(浜松東)

蒲崎協センター(中央区区安町309-1) / 毎週土曜日 / 13:30-15:30

7/19・11/1 キャリアアップのための若者オンライン日本語教室

オンライン(Zoom) / 9:30-12:30 8/2はお休み、9/13・11/1は対面授業

7/28・8/1 夏休みこども学習支援教室

鶴江アートセンター(中央区鶴江町1) / 毎日 / 9:30-11:30

お知らせ

7/14・8/18・9/22 多文化共生センター休館日のお知らせ

クリエート浜松休館に伴い、多文化共生センターは終日お休みします。

7/19・8/22・8/23・10/18・12/6・1/24 中高生ボランティア募集!

浜松市立小学校へ入学手続きについて(令和8年4月入学)

多文化共生センター休館に伴い、多文化共生センターは終日お休みします。

多文化共生活動に積極的に取り組む市民・団体を表彰します。

●対象:多文化共生社会づくり積極的に取り組み、他の模範となる優れた先駆的・継続的な活動を行う個人・団体

●お問合せ:浜松市企画調整部国際課(TEL.053-457-2359)

8/8・9/5 浜松市立小学校への入学手続きについて(令和8年4月入学)

日本国籍を持たないお子さんで、浜松市立小学校への入学を希望する保護者は、期間内に手続きしてください。バイリンガル相談員が、日本の学校の仕組みや入学までの準備について説明します。

●対象:2019年4月2日～2020年4月1日生まれの子どもとその保護者

●期間:令和7年8月8日(金)～令和7年9月5日(金)9:00～16:00

●場所:浜松市教育委員会 教育支援課(中央区中央1丁目2-1 イースタージュ浜松オフィス棟7階)

●持ち物:保護者と本人でお越しください。在留カードをお持ちください。

●お問合せ:外国人支援グループ(TEL.053-457-2429)

9/20・10/8 国勢調査にご協力をお願いします

日本全国で国勢調査を行います。日本に住んでいるすべての人と世帯の数を調べます。外国人も対象です。9月下旬から調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類を配ります。インターネットで回答をお願いします。インターネットは、英語やボルトガル語など7種類の言語が選べます。インターネットが使えない場合は、郵便で回答をお願いします。

●回答期間:インターネット9月20日(土)～10月8日(水) / 郵便10月1日(水)～10月8日(水)

●お問合せ:浜松市総務部文書行政課(TEL.053-457-2246)

浜松市で唯一のリスニング支援対象日本語教師スクール

文部科学省登録 日本語教師養成コース

今、注目の国家資格

<目標資格:国家資格「登録日本語教員」>

登録日本語教員養成機関と登録実践研修機関に登録されました

登録日本語教員養成機関 登録番号: C0241310 登録実践研修機関 登録番号: B0241308

ヒューマンアカデミーは経済産業省リスニングを通じたキャリアアップ支援事業の対象スクールです

日本語教師養成コース 通年 730,978円(税込)

今なら最大 70%キャッシュバック 265,810円(税込)

465,168円(税込) キャッシュバック

Human ヒューマンアカデミー 浜松校

静岡県浜松市中央区 錦治町140番地 浜松ビル6階

0120-490-192